

三姉さんへ

ぼくは災害の現地に行くということとはと
てもきけんだとしりました。またたおれそ
うごたおれなイビルが帰リにはたおれそ
いたり、がラスのはへんがとぶちこいる写
真などを見てもう思ひました。
地しんがあつたあともてくなる人がいる
ということも初めてしりました。
火災書はあまりおこらないでほしいと
思いました。

♪(木) ほありがとうございしました。阪神あわじ
大しん災で人々のたくさん命がなくなると
ても悲しく思いました。だけど阪神あわじ大
しん災で、もっとよりの神戸などができて人
々に人気の都会になりました。私は、ほ
じめて、しあわせ運べるように、をきいたとモ
ほあまり阪神あわじ大しん災のことを知らな
かったので、とてもこの曲をきいて、命の大切さを学び
ました。

阪神淡路大しんやんいはめぢや
くぢゃっあいんだかよとおもった。

会社のビルがつぶれたときいこめ
ぢやびくソした。印刷するコト
一タしかせんじつあれて二まってる神
戸新聞に印刷キをかけた京都新
聞はガケしいなとおもった。

昨日は、高木北に来ていただき、ありがとうございました。
私は、阪神あわじ大しんさいのような大きな地しん
にあったことがなく、たくさん新しいことを教えて
いただきました。一番心に残ったのは、数々の地しん後
の写真でした。けれど、今はすごくきれいな町に
なっていて、すごいな^あと思います。
昨日、教えていただきたことを、小さい子たちに
も、語りついでいきたいと思います。

とても良、経験になりました。もともと阪神・あわじ
大しん災のことは知っていたけれど、当時経験した
方に直接聞いてより考えが深まり、私も
この事を後の時代に伝えていくのが大切だと
いうことをあらためて思いました。また、取材
の質問にも答えていただき、取材の時間は
短い時と長く、何日もかかる時があるのを
知りました。いつも新聞を読むことがあり
ます。そのいつも読んでいる新聞がどのよう
に作りられているかを知って、新聞に親しみを持てました。

実際に阪神淡路大しん災をけいけん
した新聞記者の方の話をきいて、ど
のくらいしん災がこわいものだったのか、
どうやって町が復興したのか、これからど
う災害にそなえればいいのかがよくわか
た。私たちのようなしんさいを**実際に**
けいけんしたことがない人がたくましくい
るから、私もけいけんしたことがないけど聞いた
ことをもとに周りにしん災のことを伝えたい。

新聞記者の三好さんの話をきいて
新聞記者の人は毎朝新聞の内容を
考えてふだんのように新聞を
読んでいる私
たちのために新聞をつくら
ていることに感動した
新聞記者さんの仕事は人より
あとかんはって
いることを知ったから新聞
を読んでみると
きにこの新聞の内容を考えた
人はこんな
ふうにかつて思っているの
かなとありがたく
思いつつ新聞をよんでいま
いたい

いつの日のことを教えていただき、
ありがとうございました。記者さんか教
えてくれた新聞社のも、此白^たい^た全^ての^心
がうすがあぬていたが、私うを見て
私^はとて^も、私なりまし。け
れど、私^はこのことを後の世代の人
にも伝えたいです。あ
りかとうございました。

新聞を取材する人もよく害がなされた
とキレ印がけで作業している。と
が、か、た。雨辰の火のときの記、お、く
ま、あ、く、た、ら、ら、あ、り、っ、っ、っ、と、し、し、
り、と、し、も、が、ん、お、て、バ、ク、ホ、
インクをうつらてくたす、と、い、た。
だから、あ、く、た、ら、ら、も、雨辰の火の
記、お、く、ま、あ、り、人、た、ち、に、伝
へ、る、こ、う、と、思、い、た。

新聞記者は、阪神・淡路大震災の
の時に、新聞にのせるために他の新
聞記者の方と協力していることが初
めて知っておどろいた。

どんな時でも新聞にのせる新
聞記者の方達がすごいなと思っ
た。